



世界パラ陸上
元日本代表

江戸川区スポーツ栄誉賞受賞

村^{むらかみ}上さやか

特集

都民税の50%減税



41歳

個人都民税の50%減税

(約6,000億円)

課税所得の4%→2%に減税(課税所得の2%分、住民税の20%)

- 年収400万円の方の減税想定額 … 3万3,600円
- 年収800万円の方の減税想定額 … 8万8,862円
- 年収1,200万円の方の減税想定額 … 16万3,230円

【出典】 辻・本郷税理士法人の起業ガイド
の税金早見表を基に算出
<https://www.ht-tax.or.jp/kigyuu-guide/annual-income-tax>

江戸川区生まれ、江戸川区育ち。

主な経歴

- 2児の母
- 世界選手権5位(パラ陸上走幅跳)
- 中学道德の教科書掲載(東京書籍)
「挑戦し続けること」
- 江戸川区スポーツ栄誉賞
- 都立小岩高等学校卒業
- 教育委員会勤務

主な活動

- 全国の小中学校、海外の日本人学校での講演会
【知ることの大切さ、一歩を踏み出す勇気の意味などを伝える講演】
- 各メディア出演
エネオス、パナソニックCM、映画「車線変更」出演など



村上さやかの活動はコチラからチェック!!



教育の機会を、すべての子どもたちに

私は、誰もが公平に教育を受け、進学できる社会であってほしいと願っています。

実際、私の家族も、より良い教育環境を求めて良い学校への進学を考えましたが、学費の問題から断念した経験があります。こうした「経済的な理由で進学をあきらめる」という現実、決して他人事ではありません。

日本では高校への進学率が99%に達していますが、卒業率は95%。この数字の裏には、経済的な理由で進

学や卒業を断念せざるを得なかった子どもたちが確かにいます。

学問の自由が保障されているはずの日本において、これは見過ごせない現実です。

特に江戸川区は、東京都内で生活保護受給者数が2番目に多い地域。経済的に厳しい家庭も少なくありません。だからこそ、教育における「機会の格差」を埋めるための政策は急務だと考えています。

減税と教育無償化をセットで進める

現在、円安と物価高が続き、生活に余裕がなくなっているご家庭も増えています。そのため、減税政策の実現は急務です。これは与野党を問わず、すべての政党が共通して抱える課題だと思います。

ただし、単なる減税だけでは十分ではありません。たとえ手取りが増えても、物価が上がれば実質的には負担が変わらない、もしくはマイナスになる可能性もあるからです。

また、給付金などが必ずしも子どものために使われる

とは限らないという現実も、過去の政策から見てきました。

だからこそ私は、「教育費の無償化」をセットで進めるべきだと考えています。

行政が教育にかかる費用を責任を持って担うことで、すべての家庭に“安心して子どもを育てられる環境”を提供できます。これは単なる福祉政策ではなく、未来への投資です。

「教育費＝不安のないもの」へ

「子育てにはお金がかかる」——そう言われることが多いですが、その不安こそが少子化の一因にもなっているのではないのでしょうか。

私は、「教育費＝不安のないもの」という社会のイメージをつくっていきたい。

お金の心配で進学や習い事をあきらめたり、生活に余裕がなく笑顔を失ったりするような社会を、次の世代に残したくありません。

維新の会では、今夏からガソリン税の見直しや社会保

険料への対策を進め、手取りを増やす政策を予定しています。

暮らしに余裕が生まれれば、人はもっと自由に、もっと優しくなれる。子どもに使える時間やお金も増えるはずです。

私は、そんな未来を江戸川区から実現したいと考えています。

未来を担う子どもたちに、等しく希望とチャンス。そのために、私は全力で取り組みます。

私たちも
応援
しています。

